

2023.07.25

あきる野市地域公共交通検討協議会

会長 殿

協議会委員（市民代表）

第1回地域公共交通協議会の開催にあたり

第1回地域公共交通協議会が開催されるにあたり、市民代表の1人として意見を表明させていただきます。

1月1日のあきる野市の人口は、平成24年がピークで、その後漸減し、遂に令和5年は、8万人を割りました。人口減少は、日本全体の傾向ですが、平成27年の国勢調査（簡易調査）の人口転入出によると、日の出町に対しては、403人の転出超過で、また福生市とは272人の転入超過となっています。令和3年のあきる野市次期総合調査報告書では、あきる野市に住み続けたい理由に、「自然環境にめぐまれている」から、また「あきる野市の弱みに、公共交通の利便性の低さ」が挙げられています。この協議会が、今まで以上に公共交通対策の推進に取り組み、少なくとも交通不便による人口流出を防がなければならないと思います。

さて現在「るのバス」と「デマンド交通」の実証実験が行われていますが、「公共交通の充実を求める会」が、市民からの要望を次のようにまとめています。

- ① 「るのバス」と「デマンド交通」の本格導入
- ② 「るのバス」と「デマンド交通」の土日の運行
- ③ 補助交通の対象地域の拡大
- ④ 「るのバス」の「小川コース」を、別図のように野辺、小川玉見ヶ崎、野辺、二宮神社、秋川駅のコースを、野辺、小川玉見ヶ崎、交差点「小川」、交差点「二宮本宿」、秋川駅へのコースに変更
- ⑤ パークハイツの周回と停留所の増設、折立地域への「るのバス」の運行

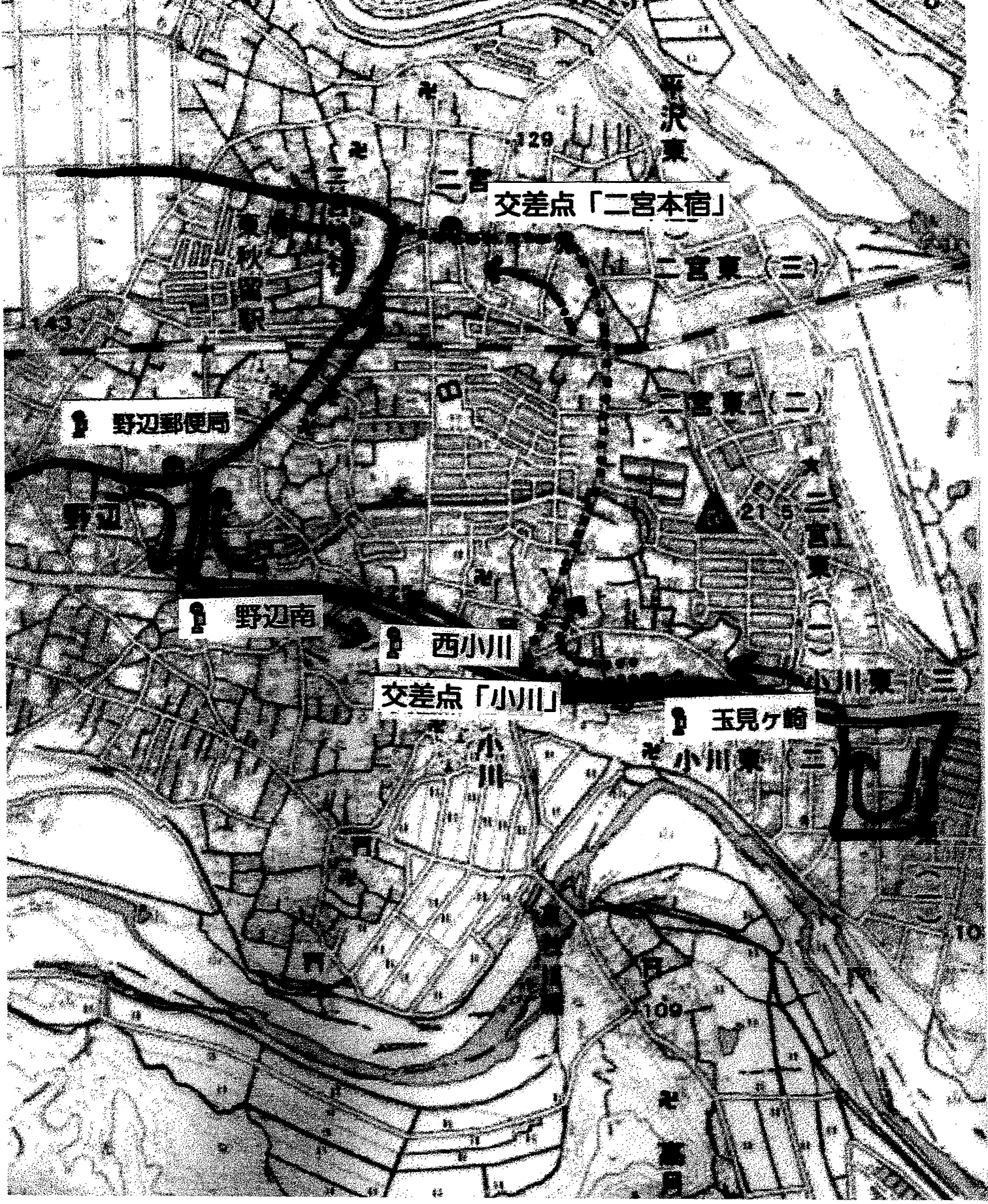
そして現在「公共交通の充実を求める会」が、署名活動を始め次の協議会に提出をしたいとしています。ぜひ公共交通対策の推進に検討いただきたいと思います。

私自身、地域に入り、住民の声を聞くと、このほかにもデマンド交通の運行時間を早くしてほしい、野辺・小川地区の目的地に「奥村整形外科」を追加して欲しいなどの具体的な要望が寄せられました。今回新たにスタートする「地域公共交通検討協議会」が、これら住民の声を聞き、交通対策を推進させ、高齢者の外出支援、健康促進とともに環境保全、観光促進、そして街の活性化につなげていければと思います。

以上

添付：「るのバス」の小川コースの変更（案）

「るのバス」 小川コース変更 (案)



野辺郵便局

野辺南

西小川

交差点「小川」

玉見ヶ崎

交差点「二宮本宿」

二宮東 (三)

二宮東 (二)

大宮東 (二)

小川東 (三)

小川東 (二)

小川東 (一)

平沢東

二宮

野辺

小川